

自由定期付積立型新変額保険  
投資型ユニバーサル保険 Prime Life  
2024年度 特別勘定の現況

●投資環境(2024年度)

**日本株式市場**

当年度の国内株式市場は小幅に下落しました。年度初、日本経済のデフレからの脱却、企業がバナンスの改善などから、2024年7月初めにTOPIXは大きく上昇して、史上最高値を更新しました。その後、7月の金融政策決定会合後に行われた日銀総裁の記者会見の内容が利上げに積極的と受け止められたほか、米国の景気減速懸念により円高米ドル安が進行したことなどから、国内株式市場は歴史的な暴落となりました。しかし、日銀副総裁の発言内容が急速な利上げに慎重な姿勢を示したほか、米国では9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で0.5%の利下げが実施されたことなどから安心感が広がり、国内株式市場は反転して、緩やかながらも上昇基調に転じました。11月に米大統領選でトランプ氏が勝利すると、関税強化への警戒や日米金融政策への思惑から、国内株式市場は年度末にかけて一進一退の動きが続きました。

**外国株式市場**

当年度の外国株式市場は上昇しました。年度前半は、米国で雇用統計が事前予想を下回り景気後退懸念が高まったことなどから、外国株式市場は下落する場面もありましたが、2024年9月にFRB（米連邦準備制度理事会）が0.5%の利下げを実施したことに加え、年内の追加利下げの可能性を示唆したことが好感され、上昇しました。年度後半は、米国で2024年7-9月期の企業決算が事前予想を上回り堅調な業績が好感されたことや、米大統領選でトランプ氏が勝利し、減税や規制緩和への期待が継続するなか、外国株式市場は上昇基調で推移しました。年度末にかけては、トランプ政権がカナダに対する追加関税を発表するなど、関税政策に対する不透明感や政府機関閉鎖への懸念が高まったことなどを背景に、米国経済の先行きに対する懸念が広がり、外国株式市場は下落しました。

**日本債券市場**

当年度、10年国債利回りは上昇しました。年度初、日銀による追加利上げの思惑や国債買入減額観測が高まったことなどから、10年国債利回りは1.1%程度まで徐々に水準を切り上げる展開となりました。2024年7月末に日銀が追加利上げを決定した直後に株式市場が急落した局面では10年国債利回りは0.8%程度まで大幅に低下しましたが、その後米国による財政拡張政策への警戒感から円安が進行したことを背景に、追加利上げ観測が高まったことなどから、12月末には1.1%程度まで上昇しました。2025年1月に追加利上げを決定後も、日銀関係者から利上げの継続に対する前向きなコメントが相次ぐなか、年度末にかけて10年国債利回りは一段と上昇し、1.5%程度の水準で当年度を終えました。

**外国債券市場**

米国債利回りはおおむね横ばいとなりました。年度前半は、米国で景気・雇用鈍化の兆候が見られ、FRBによる利下げが実施されたことから、米国債利回りは低下しました。年度後半は、米国の経済指標の多くが堅調であったことやトランプ氏の米大統領選勝利を受けた財政悪化懸念などを背景に過度な利下げ期待が後退し、米国債利回りは上昇しましたが、年度末にかけては軟調な経済指標が続いたことやトランプ政権の関税政策が事前の予想よりも穏健だと思われたことなどから低下し、当年度を終えました。

ドイツ国債利回りは上昇しました。年度前半は、ECB（欧州中央銀行）高官による利下げ期待を後退させる発言などからドイツ国債利回りは上昇しましたが、年度半ばにかけて米国債利回りに連動して低下しました。年度後半にかけては、堅調な経済指標や欧州全体の防衛力強化の議論などを背景とした財政拡張リスクの高まりなどにより、ドイツ国債利回りは再度上昇に転じて当年度を終えました。

**外国為替市場**

米ドル円為替レートは小幅に円高米ドル安となりました。年度前半は、日銀が金融緩和姿勢を維持するなか、FRBが金融引き締め姿勢を維持したことにより、円安米ドル高基調で推移しました。その後、財務省による為替介入などが意識された一方、米国では景気後退懸念が高まったことから、円高米ドル安が急激に進行しました。年度後半は、日銀が追加利上げを急がない姿勢を見せたことやトランプ氏の米大統領選勝利により先行き不透明感が強まったことなどから円安米ドル高が進行しましたが、その後日銀が2025年1月に0.25%の利上げを実施し、今後の追加利上げも肯定する姿勢を見せたことから再度円高米ドル安となりました。

ユーロ円為替レートは、小幅に円高ユーロ安となりました。年度前半はドイツ国債利回りが上昇するなか、日銀が金融緩和姿勢を維持したことにより円安ユーロ高が進行しましたが、その後、ドイツ国債利回りの低下や、財務省による為替介入や日銀による追加利上げが意識されたことにより、円高ユーロ安となりました。年度後半は上下に振れながらもおおむね横ばい圏で推移しました。

●運用実績の推移および運用方針

- |             |  |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。                            |
| ②当期の運用方針    | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。              |
| ③今後の運用方針    | 当社は、今後とも各特別勘定の運用方針および管理運営方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2024年度決算(決算日：2025年3月31日)を行いました。当資料は2024年度の運用状況をご報告するものです。  
4ページ以降は特別勘定レポート(2025年3月末現在)からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。



\*400601\*

## ●特別勘定資産の内訳(2024年度末)

(単位：千円)

区分	金額			
	世界株式CA	日本株式FA	日本株式BA	アセット・アロケーションSA
現預金・コールローン	29,116	3,520	4,505	17,649
有価証券	1,479,650	201,359	225,184	925,915
公社債	-	-	-	-
株式	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-
その他の証券	1,479,650	201,359	225,184	925,915
貸付金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	-
合計	1,508,767	204,880	229,690	943,564

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額			
	世界バランスDSA	世界債券ヘッジMA	世界債券MA	マネー・プールB
現預金・コールローン	6,590	1,388	3,394	79,838
有価証券	244,485	69,985	136,552	-
公社債	-	-	-	-
株式	-	-	-	-
外国証券	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-
株式等	-	-	-	-
その他の証券	244,485	69,985	136,552	-
貸付金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	-
合計	251,076	71,374	139,947	79,838

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の運用収支状況(2024年度)

(単位：千円)

区分	金額			
	世界株式CA	日本株式FA	日本株式BA	アセット・アロケーションSA
利息配当金等収入	77,055	8,796	8,419	39,992
有価証券売却益	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	1,126,276	99,016	129,124	551,327
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	1,120,775	111,152	132,295	657,554
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	82,556	-3,338	5,248	-66,233

※単位未満切捨て

(単位：千円)

区分	金額			
	世界バランスDSA	世界債券ヘッジMA	世界債券MA	マネー・プールB
利息配当金等収入	12,307	-	802	-
有価証券売却益	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-
有価証券評価益	123,079	12,818	32,339	-
為替差益	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-
有価証券売却損	-	3,090	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-
有価証券評価損	137,318	12,279	32,226	-
為替差損	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-
収支差額	-1,931	-2,552	915	-

※単位未満切捨て

## ●有価証券の売買状況(2024年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界株式 CA	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1*1	-	-	27,691	24,679
日本株式 FA	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3*1	-	-	4,724	9,599
日本株式 BA	日本株式インデックス・ファンドVA1*2	747	2,400	4,620	6,600
アセット・アロケーション SA	さわかみファンド	-	-	18,207	28,331
世界バランス DSA	大和住銀グローバルバランスファンド SVA	-	-	4,471	12,005
世界債券ヘッジ MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり)	-	-	16,594	21,290
世界債券 MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)	-	-	1,554	2,561
マネー・プール B	-	-	-	-	-

※単位未満切捨て

\*1 適格機関投資家専用

\*2 適格機関投資家限定

## ●保有契約高(2024年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
自由定期付積立型新変額保険 投資型ユニバーサル保険 Prime Life	484	5,529

※単位未満切捨て

## ●特別勘定の内容

特別勘定の名称	銘柄	運用会社	資産運用関係費用(年率)*3
世界株式 CA	キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1*1	キャピタル・インターナショナル	0.77% (税込) 程度
日本株式 FA	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3*1	フィデリティ投信	0.968% (税込) 程度
日本株式 BA	日本株式インデックス・ファンドVA1*2	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ	0.275% (税込) 程度
アセット・アロケーション SA	さわかみファンド	さわかみ投信	1.10% (税込) 程度
世界バランス DSA	大和住銀グローバルバランスファンド SVA	三井住友 DS アセットマネジメント 投資顧問：ティール・ロウ・プライス・ インターナショナル・リミテッド、 ティール・ロウ・プライス・アソシエイツ・ インク	1.078% (税込) 程度
世界債券ヘッジ MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジあり)	ブラックロック・ジャパン	0.528% (税込) 程度
世界債券 MA	JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)		0.528% (税込) 程度
マネー・プール B	特に定めません	特に定めません	金利情勢、投資対象とする 短期金融商品によって変動します。

\*1 適格機関投資家専用

\*2 適格機関投資家限定

\*3 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】 2003年12月1日
- 【資産分類】 世界株式
- 【運用方針】  
日本を含む世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。
- 【投資対象となる投資信託】  
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	29,116	1.9%
有価証券等		
キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1	1,479,650	98.1%
その他	-	-
資産合計	1,508,767	100.0%
負債合計	-	-
純資産総額	1,508,767	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	268.83	-
2024年 3月31日	357.02	2.71%
4月30日	356.89	-0.04%
5月31日	369.12	3.43%
6月30日	381.38	3.32%
7月31日	366.55	-3.89%
8月31日	356.53	-2.73%
9月30日	363.90	2.07%
10月31日	379.16	4.19%
11月30日	373.19	-1.57%
12月31日	382.36	2.46%
2025年 1月31日	387.95	1.46%
2月28日	375.70	-3.16%
3月31日	371.64	-1.08%
3ヶ月変化率		-2.81%
6ヶ月変化率		2.13%
1年変化率		4.09%
3年変化率		38.24%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・ファンドVA-1 (適格機関投資家専用) の基本情報

- 【運用会社】 キャピタル・インターナショナル
- 【運用対象】 日本を含む世界主要国の株式など
- 【ベンチマーク】 MSCI-World Index

### 運用状況

#### ■国別・地域別内訳※ (2025.3末現在)

国名	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比	ポートフォリオ 銘柄数
北米	75.1%	50.8%	112
アメリカ	72.0%	49.9%	106
カナダ	3.1%	0.9%	6
欧州・中近東	16.9%	34.0%	53
イギリス	3.8%	7.4%	13
フランス	2.9%	10.8%	13
スイス	2.5%	2.4%	6
ドイツ	2.5%	4.4%	7
オランダ	1.1%	1.7%	2
ノルウェー	0.2%	0.0%	0
その他	4.0%	7.2%	12
アジア・オセアニア	8.0%	8.4%	23
日本	5.4%	5.7%	17
香港	0.5%	1.3%	3
その他	2.1%	1.4%	3
その他地域	-	2.8%	8
キャッシュ他	-	4.0%	-
合計	100.0%	100.0%	196

#### ■業種別内訳※ (2025.3末現在)

業種	ベンチマーク 構成比	ポートフォリオ 構成比
資本財・サービス	11.1%	18.8%
情報技術	23.6%	17.2%
金融	17.3%	16.1%
ヘルスケア	11.1%	11.9%
一般消費財・サービス	10.2%	8.6%
コミュニケーション・サービス	7.9%	6.4%
生活必需品	6.5%	6.1%
公益事業	2.7%	4.1%
エネルギー	4.1%	3.3%
素材	3.4%	2.9%
不動産	2.2%	0.6%
キャッシュ他	-	4.0%
合計	100.0%	100.0%

#### ■組入上位10銘柄※ (2025.3末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比	
1 マイクロソフト	アメリカ	情報技術	2.7%	
2 ブロードコム	アメリカ	情報技術	2.5%	
3 アップル	アメリカ	情報技術	2.4%	
4 アルファベット	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.4%	
5 サフラン	フランス	資本財・サービス	2.3%	
6 JP モルガン・チェース	アメリカ	金融	1.9%	
7 SAP	ドイツ	情報技術	1.8%	
8 台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング	台湾	情報技術	1.7%	
9 アストラゼネカ	イギリス	ヘルスケア	1.7%	
10 ノボ	ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	1.7%

※構成比は投資対象となる投資信託の時価総額に対する割合

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

2025年3月の世界の株式市場は、現地通貨ベース、円ベースともに下落しました。現地通貨ベースで同市場を見ると、前半は米国の関税政策をめぐると不透明感が強まったことや、それに伴う景気悪化への懸念から下落しました。後半は景気悪化懸念が和らいだことなどを背景に下落幅を縮小した後、月末にかけては相互関税や自動車関税など、米政権による関税強化の方針が警戒されたことを受けて再び下落しました。セクター別では、エネルギーや公益事業が上昇したのに対し、情報技術や一般消費財・サービスなどは下落しました。当ファンドでは、キャピタル・インターナショナル・グローバル・エクイティ・マザーファンドを通じてキャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) に投資を行った結果、当月の基準価額騰落率は-2.45%となりました。キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド (LUX) における運用に関しては、セクター別では資本財・サービスや生活必需品における銘柄選択などがプラスに寄与した一方、ヘルスケアや一般消費財・サービスにおける銘柄選択などはマイナスに寄与しました。国別ではドイツの銘柄選択などが

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】 2003年12月1日
- 【資産分類】 日本株式
- 【運用方針】  
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】  
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現金	3,520	1.7%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA3	201,359	98.3%
その他	—	—
資産合計	204,880	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	204,880	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	215.83	—
2024年 3月31日	272.03	3.16%
4月30日	265.15	-2.53%
5月31日	268.09	1.11%
6月30日	275.97	2.94%
7月31日	272.51	-1.26%
8月31日	262.44	-3.69%
9月30日	270.77	3.18%
10月31日	263.17	-2.81%
11月30日	260.04	-1.19%
12月31日	272.24	4.69%
2025年 1月31日	267.25	-1.83%
2月28日	260.28	-2.61%
3月31日	265.04	1.83%
3ヶ月変化率		-2.64%
6ヶ月変化率		-2.12%
1年変化率		-2.57%
3年変化率		22.80%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3 (適格機関投資家専用) の基本情報

- 【運用会社】 フィデリティ 投信
- 【運用対象】 日本株式
- 【ベンチマーク】 TOPIX (配当金込)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2025.3末現在)

市場	構成比
東証プライム	96.3%
東証スタンダード	1.4%
東証グロース	0.4%
その他市場	—
現金・その他	1.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2025.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	19.5%
2 銀行業	11.6%
3 輸送用機器	8.4%
4 小売業	6.6%
5 卸売業	5.7%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 ソニーグループ	電気機器	5.1%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.1%
3 日立製作所	電気機器	3.9%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.7%
5 東京海上ホールディングス	保険業	2.9%
6 伊藤忠商事	卸売業	2.8%
7 キーエンス	電気機器	2.7%
8 豊田自動織機	輸送用機器	2.6%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
10 リクルートホールディングス	サービス業	2.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 169)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

当月の東京株式市場は、前月に続いて米国の追加関税が世界経済に与える影響が懸念され、上値の重い推移となりました。中国に対する関税引き上げや、カナダ・メキシコに対する追加関税の発動など、トランプ政権が打ち出す関税政策に対する警戒感が高まる中で、株価は軟調に始まりました。しかし、カナダ・メキシコに対する関税に猶予措置が取られたことや、為替が円安方向に振れたことなどから、中旬には日本株は上昇に転じ、調整色を強めていた米国株が持ち直したことも支えとなって、TOPIXは2024年7月以来となる高値水準を回復しました。月末近くには、米政権が発表した輸入自動車に対する追加関税に加え、全世界を対象として貿易相手国と同水準まで関税率を引き上げる相互関税などが世界経済に与える影響が警戒され、株価は大きく下落して月を終えました。長期金利上昇を背景に上昇した金融株などが支えとなって底堅く推移したTOPIXに対し、米中対立が懸念された半導体関連株の株価調整が響いた日経平均株価は弱含み、両指数の月間の動きには差が見られました。月間の騰落率は、TOPIX (配当込) が+0.22%、日経平均株価は-4.14%でした。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】 2003年12月1日
- 【資産分類】 日本株式
- 【運用方針】  
東証株価指数（TOPIX）採用銘柄を中心に分散投資を行い、TOPIXの動きに連動する投資成果を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】  
日本株式インデックス・ファンドVA1

### ■ユニットプライスの推移



### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	4,505	2.0%
有価証券等		
日本株式インデックス・ファンドVA1	225,184	98.0%
その他	—	—
資産合計	229,690	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	229,690	100.0%

	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	190.59	—
2024年 3月31日	268.40	3.58%
4月30日	261.91	-2.42%
5月31日	265.58	1.40%
6月30日	272.00	2.42%
7月31日	267.87	-1.52%
8月31日	261.99	-2.19%
9月30日	268.71	2.56%
10月31日	264.80	-1.46%
11月30日	262.90	-0.72%
12月31日	273.91	4.19%
2025年 1月31日	271.58	-0.85%
2月28日	267.00	-1.68%
3月31日	271.44	1.66%
3ヶ月変化率		-0.90%
6ヶ月変化率		1.02%
1年変化率		1.13%
3年変化率		42.42%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### 日本株式インデックス・ファンドVA1 <適格機関投資家限定>の基本情報

- 【運用会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
- 【運用対象】 日本株式
- 【ベンチマーク】 TOPIX（配当金込）

### 運用状況

#### ■上位5業種構成比 (2025.3末現在)

業種	構成比
1 電気機器	16.89%
2 銀行業	9.28%
3 情報・通信業	7.38%
4 輸送用機器	7.04%
5 卸売業	6.56%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位20銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.58%
2 ソニーグループ	電気機器	3.34%
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.27%
4 日立製作所	電気機器	2.29%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.99%
6 任天堂	その他製品	1.64%
7 リクルートホールディングス	サービス業	1.58%
8 キーエンス	電気機器	1.50%
9 東京海上ホールディングス	保険業	1.42%
10 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.39%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

銘柄名	業種	構成比
11 三菱商事	卸売業	1.32%
12 伊藤忠商事	卸売業	1.26%
13 三菱重工業	機械	1.15%
14 三井物産	卸売業	1.12%
15 日本電信電話	情報・通信業	1.11%
16 東京エレクトロン	電気機器	1.10%
17 武田薬品工業	医薬品	1.01%
18 信越化学工業	化学	0.97%
19 ソフトバンクグループ	情報・通信業	0.95%
20 KDDI	情報・通信業	0.90%

#### ■主要指標 (2025.3末現在)

ポートフォリオ	値
銘柄数	1,685
β値*	1.00
推定トラッキング・エラー (年率)*	0.03%

\*対ベンチマーク

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# アセット・アロケーションSA (2025年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】2003年12月1日
- 【資産分類】アセット・アロケーション
- 【運用方針】  
国内外の株式等を主要投資対象としますが、投資対象には特に制限を設けず、積極的かつ長期スタンスの運用により円ベースでの資産の成長を目指します。
- 【投資対象となる投資信託】  
さわかみファンド

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	213.54	—
2024年 3月31日	276.90	3.25%
4月30日	270.46	-2.33%
5月31日	274.74	1.58%
6月30日	278.00	1.19%
7月31日	270.58	-2.67%
8月31日	261.93	-3.20%
9月30日	271.09	3.50%
10月31日	265.35	-2.12%
11月30日	259.26	-2.29%
12月31日	265.71	2.49%
2025年 1月31日	261.83	-1.46%
2月28日	255.16	-2.55%
3月31日	256.21	0.41%
3ヶ月変化率		-3.58%
6ヶ月変化率		-5.49%
1年変化率		-7.47%
3年変化率		19.98%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	17,649	1.9%
有価証券等		
さわかみファンド	925,915	98.1%
その他	—	—
資産合計	943,564	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	943,564	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### さわかみファンドの基本情報

- 【運用会社】さわかみ投信
- 【運用対象】国内外の株式、債券
- 【ベンチマーク】特に定めません。

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2025.3末現在)

市場	銘柄数	構成比
東証プライム	123	83.87%
東証スタンダード	6	0.61%
東証グロース	5	0.19%
その他国内市場	0	—
外国市場	11	3.08%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

#### ■銘柄数 145 (2025.3末現在)

#### ■上位10業種構成比 (2025.3末現在)

業種	構成比
1 機械	14.91%
2 電気機器	13.62%
3 化学	11.97%
4 精密機器	6.54%
5 輸送用機器	6.37%
6 食料品	5.99%
7 小売業	5.60%
8 ガラス・土石製品	3.70%
9 ゴム製品	3.00%
10 サービス業	2.63%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。  
※業種は東証33業種分類による。

#### ■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 信越化学工業	化学	3.43%
2 テルモ	精密機器	3.30%
3 プリヂストーン	ゴム製品	3.00%
4 ディスコ	機械	2.91%
5 アサヒグループホールディングス	食料品	2.64%
6 ダイキン工業	機械	2.64%
7 トヨタ自動車	輸送用機器	2.61%
8 INPEX	鉱業	2.58%
9 セブン&アイ・ホールディングス	小売業	2.50%
10 花王	化学	2.36%

※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2025.3末現在)

さわかみファンドは基準価額38,000円台で膠着する状況です。市況は米国大統領の言動に振り回される状態ですが、私たちは必要以上に囚われずやるべきことに集中しています。3月は、通知、茨城、横浜と企業訪問ツアーが集中しました。平日にもかかわらず、満席のご予約をいただき、投資先企業を五感で感じたいというファンド仲間の知的好奇心に感動しました。私たちは皆さまとのツアーを通してトランプ・リスクを物ともしない投資先企業の力強さを確認することで、応援投資の覚悟を決めています。来年度開催の見学ツアーもぜひご一緒に楽しみましょう。4月から運用調査部長に資歴を起用します。ここ1年は私のもとで部長代理かつ調査チーム長を務めており、次世代リーダーとして相応しいと判断しました。一方、私は取締役最高投資責任者として、また一般財団法人さわかみ未来創造研究所の代表理事として、対外的な連携を強化し「広く、深く、遠く」の長期投資アイデアの領域を拡げて参ります。推し論の掛け合わせをさらにダイナミックにしていく布陣にしますのでご期待ください。この準備あればこそ、いつ暴落が来ても、みずみずしいアイデアで応援投資の勝負ができるのです。(3月27日)

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供したものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用実績を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界バランスDSA (2025年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】バランス

【運用方針】

日本を含む世界各国の株式および公社債に分散投資を行い、中長期的な資産の成長を目指します。株式と債券の基本資産配分比率は6:4とします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

大和住銀グローバルバランスファンドSVA

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	285.13	—
2024年 3月31日	338.59	2.82%
4月30日	335.15	-1.02%
5月31日	346.29	3.32%
6月30日	357.49	3.24%
7月31日	341.37	-4.51%
8月31日	329.25	-3.55%
9月30日	334.70	1.66%
10月31日	344.40	2.90%
11月30日	342.43	-0.57%
12月31日	353.42	3.21%
2025年 1月31日	352.16	-0.35%
2月28日	338.34	-3.92%
3月31日	331.76	-1.95%
3ヶ月変化率		-6.13%
6ヶ月変化率		-0.88%
1年変化率		-2.02%
3年変化率		16.36%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位:千円)

資産等の種類	金額	構成比
現金	6,590	2.6%
有価証券等		
大和住銀グローバルバランス ファンドSVA	244,485	97.4%
その他	—	—
資産合計	251,076	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	251,076	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 大和住銀グローバルバランスファンドSVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント

(投資顧問) ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド,  
ティエー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク

【運用対象】日本を含む世界各国の株式および公社債

【ベンチマーク】MSCIワールド・インデックス (円換算): 60%、  
FTSE世界国債インデックス (円換算): 40%

### 運用状況

#### ■資産構成 (2025.3末現在)

ファンド名	構成比
インターナショナル株式マザーファンド	56.1%
グローバル債券マザーファンド	37.4%
日本株マザーファンド	3.8%
短期金融資産等	2.7%

※各マザーファンドへの投資割合

#### ■インターナショナル株式 組入上位10銘柄

(2025.3末現在)

銘柄名	国名	業種	構成比
1 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	4.1%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	3.8%
3 META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.5%
4 ELI LILLY & CO	アメリカ	ヘルスケア	3.5%
5 UNILEVER PLC	イギリス	生活必需品	3.4%
6 SCHWAB (CHARLES) CORP	アメリカ	金融	3.1%
7 APPLE INC	アメリカ	情報技術	2.5%
8 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	2.4%
9 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	2.4%
10 KENVUE INC	アメリカ	生活必需品	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 76)

#### ■グローバル債券組入上位10銘柄

(2025.3末現在)

銘柄名	国名	構成比
1 US TREASURY N/B 4.125 02/29/32	アメリカ	8.8%
2 CANADIAN GOVERNMENT 3.25 11/01/26	カナダ	6.7%
3 FRANCE OAT. 2.75 02/25/29	フランス	5.3%
4 US TREASURY N/B 4.375 05/15/34	アメリカ	4.1%
5 US TREASURY N/B 4 11/15/52	アメリカ	4.0%
6 BUONI POLIENNALI DEL TES 3.35 07/01/29	イタリア	3.5%
7 15 40年国債	日本	3.3%
8 372 10年国債	日本	3.1%
9 BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND 0 02/15/32	ドイツ	3.1%
10 AUSTRALIAN GOVERNMENT 3.75 05/21/34	オーストラリア	2.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 25)

#### ■日本株組入上位10銘柄

(2025.3末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 川崎重工業	輸送用機器	5.6%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.1%
3 日本航空	空運業	4.8%
4 伊藤忠商事	卸売業	4.3%
5 しずおかフィナンシャルグループ	銀行業	4.1%
6 山九	陸運業	3.9%
7 富士通	電気機器	3.7%
8 東京海上ホールディングス	保険業	3.6%
9 九電工	建設業	3.0%
10 BIPROGY	情報・通信業	2.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 42)

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券ヘッジMA (2025年3月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	1,388	1.9%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジあり)	69,985	98.1%
その他	—	—
資産合計	71,374	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	71,374	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	98.32	—
2024年 3月31日	83.61	0.57%
4月30日	81.46	-2.57%
5月31日	81.28	-0.22%
6月30日	81.95	0.83%
7月31日	82.55	0.73%
8月31日	83.25	0.85%
9月30日	83.47	0.27%
10月31日	82.03	-1.73%
11月30日	82.14	0.14%
12月31日	81.15	-1.21%
2025年 1月31日	80.75	-0.49%
2月28日	81.23	0.59%
3月31日	80.17	-1.31%
3ヶ月変化率		-1.20%
6ヶ月変化率		-3.95%
1年変化率		-4.11%
3年変化率		-18.45%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジあり）の基本情報

【運用会社】 ブラックロック・ジャパン

【運用対象】 日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】 FTSE世界国債インデックス（円ヘッジ 円ベース）

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率 (2025.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.8%	46.3%	-2.6%
カナダ	1.8%	1.0%	0.0%
メキシコ	0.7%	0.6%	0.1%
日本	9.9%	8.9%	98.7%
オーストラリア	1.1%	0.8%	0.0%
ニュージーランド	0.3%	—	—
シンガポール	0.4%	0.6%	0.1%
中国	10.2%	10.2%	0.1%
マレーシア	0.5%	0.7%	0.7%
韓国	—	2.5%	2.5%
ユーロ	26.5%	28.7%	0.3%
英国	4.8%	5.0%	0.1%
デンマーク	0.2%	0.3%	-0.0%
スウェーデン	0.2%	0.4%	0.1%

#### ■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 フランス国債	2.750	2030/2/25	3.8%
2 日本国債	0.100	2031/9/20	3.5%
3 アメリカ国債	4.125	2027/1/31	2.9%
4 韓国国債	2.875	2026/9/10	2.5%
5 ドイツ国債	2.000	2026/12/10	2.3%
6 アメリカ特殊債	6.000	2025/4/14	2.2%
7 イタリア国債	3.650	2035/8/1	2.1%
8 イタリア国債	3.000	2029/8/1	1.4%
9 ドイツ国債	2.200	2034/2/15	1.4%
10 スペイン国債	3.150	2035/4/30	1.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 301）

修正デュレーション＝平均7.03年（ベンチマーク＝同6.84年）

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2003年12月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	3,394	2.4%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	136,552	97.6%
その他	—	—
資産合計	139,947	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	139,947	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	128.26	—
2024年 3月31日	137.07	1.33%
4月30日	136.85	-0.16%
5月31日	138.87	1.47%
6月30日	142.28	2.45%
7月31日	139.32	-2.07%
8月31日	134.95	-3.14%
9月30日	137.05	1.56%
10月31日	139.56	1.83%
11月30日	137.54	-1.45%
12月31日	140.65	2.26%
2025年 1月31日	137.92	-1.94%
2月28日	134.97	-2.14%
3月31日	136.15	0.88%
3ヶ月変化率		-3.20%
6ヶ月変化率		-0.66%
1年変化率		-0.67%
3年変化率		6.16%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率 (2025.3末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	42.8%	47.7%	37.9%
カナダ	1.8%	1.3%	1.8%
メキシコ	0.7%	0.9%	0.7%
南アフリカ	—	—	0.0%
日本	9.9%	11.2%	12.3%
オーストラリア	1.1%	1.1%	1.1%
ニュージーランド	0.3%	—	0.2%
シンガポール	0.4%	0.5%	0.4%
中国	10.2%	9.9%	10.1%
マレーシア	0.5%	0.7%	0.7%
韓国	—	2.4%	2.4%
ユーロ	26.5%	30.8%	26.4%
英国	4.8%	5.0%	4.7%
デンマーク	0.2%	0.3%	0.2%

	ベンチマーク	債券	通貨
スウェーデン	0.2%	0.3%	0.2%
スイス	—	—	0.0%
ポーランド	0.6%	0.5%	0.5%
ノルウェー	0.1%	0.3%	0.2%
チェコ	—	—	0.1%
イスラエル	0.3%	—	0.3%
キャッシュ等		-12.8%	
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年4月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替組入比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

#### ■組入上位10銘柄 (2025.3末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 日本国債	0.100	2031/9/20	3.9%
2 フランス国債	2.750	2030/2/25	3.0%
3 アメリカ国債	4.125	2027/1/31	3.0%
4 韓国国債	2.875	2026/9/10	2.4%
5 アメリカ国債	4.000	2029/7/31	2.3%
6 アメリカ特殊債	6.000	2025/4/14	2.2%
7 フランス国債	2.750	2029/2/25	2.1%
8 イタリア国債	3.650	2035/8/1	2.1%
9 アメリカ国債	4.375	2034/5/15	2.0%
10 アメリカ国債	4.125	2027/2/28	1.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 252）

修正デュレーション＝平均7.05年（ベンチマーク＝同6.84年）

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2003年12月1日

【資産分類】 短期金融商品

【運用方針】

円建ての預貯金、短期金融商品を中心に投資を行います。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。

【投資対象】

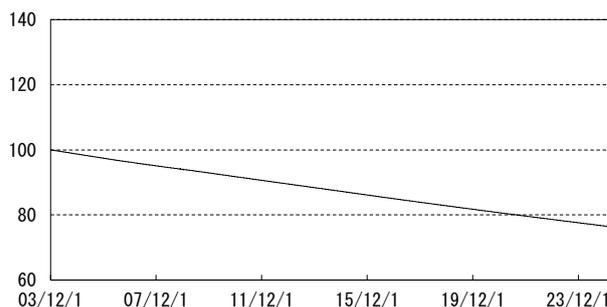
短期金融商品

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：千円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	79,838	100.0%
有価証券等	—	—
その他	—	—
資産合計	79,838	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	79,838	100.0%

### ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2022年 3月31日	79.29	—
2024年 3月31日	77.25	-0.11%
4月30日	77.17	-0.11%
5月31日	77.09	-0.11%
6月30日	77.00	-0.11%
7月31日	76.92	-0.11%
8月31日	76.83	-0.11%
9月30日	76.75	-0.11%
10月31日	76.67	-0.11%
11月30日	76.59	-0.11%
12月31日	76.50	-0.11%
2025年 1月31日	76.42	-0.11%
2月28日	76.34	-0.10%
3月31日	76.26	-0.11%
3ヶ月変化率		-0.32%
6ヶ月変化率		-0.65%
1年変化率		-1.29%
3年変化率		-3.83%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

※マーケットの先行きが著しく読みにくい局面等で資金を一時的に待避させる目的でご利用ください。

・当資料は、投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型ユニバーサル保険 Prime Life(自由定期付積立型新変額保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、積立金額、満期払戻金額、解約払戻金額および死亡保険金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る死亡保険金額、満期払戻金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、満期払戻金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■保険期間中に必ずご負担いただく費用

項目	費用
保険契約管理費	特別勘定の純資産総額に対して年率1.3%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.10%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.3の「特別勘定の内容」をご覧ください。
危険保険料	月単位の契約応当日の前日の危険保険金額に危険保険料率を乗じた額(危険保険料)
死亡保障関係費	月単位の契約応当日の前日の危険保険金額に対し0.01%/月

\* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

### ■特定の取引の場合にご負担いただく費用

項目	適用	費用
保険契約関係費	月単位の契約応当日の前日末の積立金額が100万円未満の契約	毎月…250円
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.3%
解約控除費用	契約日から解約控除対象期間内に解約・減額・一部引出したとき	積立金および危険保険金に対して、所定の解約控除率を乗じて算出した金額

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険契約管理費」、「資産運用関係費用」、「危険保険料」、「死亡保障関係費」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除費用」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

## ご注意いただきたい事項

- 「プライムライフ」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額保険)です。
- 「プライムライフ」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】	【引受保険会社】 <b>東京海上日動あんしん生命保険株式会社</b> ホームページ <a href="https://www.tmn-anshin.co.jp/">https://www.tmn-anshin.co.jp/</a>  ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ <b>☎ 0120-155-730</b> 受付時間 平日9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
---------	---